

平成30年度青森市指定管理者選定評価委員会 会議概要
(「指定管理者候補者選定」に係る審査)

- 1 開催日時 平成30年10月18日(木) 9:00～
- 2 開催場所 青森市役所 第3庁舎1階 会議室
- 3 対象施設 青森市西部市民センター
- 4 出席者
 - (1) 選定評価委員 委員長 横内 修 (企画部理事次長事務取扱)
副委員長 山谷 直大 (総務部理事次長事務取扱)
委員 岩船 彰 (青森中央学院大学教授)
委員 佐々木信一 (東北税理士会青森支部税理士)
委員 川村 敬貴 (税務部次長)
委員 工藤 健志 (経済部次長)
委員 永澤 治 (農林水産部次長)
 - (2) 施設所管課 (中央市民センター) 館長 渡邊 薫
副参事 小倉 隆
主幹 千葉 皆工
 - (3) 制度所管課 (企画調整課) 課長 舘山 公
主幹 高野 新
主査 吉田 敏和
主査 小笠原誉史
- 5 欠席者 なし
- 6 案件 「指定管理者候補者選定」に係る審査
- 7 会議概要 応募団体によるプレゼンテーション及び質疑応答の後、指定管理者候補者の選定を行った。

(1) 審査結果

①指定管理者候補者

- ・名称 青森市西部市民センター管理運営協議会
- ・住所 青森市大字新城字平岡163番地22
- ・代表者 会長 加川 幸男

②指定期間

平成31年4月1日からの5年間

③選定理由

- ・応募資格を満たしていること。
- ・最低得点(72.5点)以上の点数(89.04点)を獲得していること。

- ・「効率性について」を除いた場合に、普通とした点数の合計（60点）以上の点数（72.55点）を獲得していること。

8 主な質疑内容

(委員)

9つの自主事業が提案されているが、この中に新規事業はあるのか。

(応募団体)

新規事業はない。

(委員)

夜間は職員を何人配置しているか。

(応募団体)

夜間は2～3人体制とし、このうち1名は男性職員が含まれるようにしている。

(委員)

施設を利用していただく上で、地元の協力団体の意見を聴くことは非常に大切であると思うが、実際、これらの団体は年1回の意見交換会に参加するのか。

(応募団体)

意見交換会は、センターまつりの実施計画を協議する会議と併せて毎年8月に1回開催している。したがって、センターまつりに参加する登録団体は必ず出席することになり、その会議において、登録団体や協力団体に備品の更新や利用時間、利用方法の変更等に関する意見などを承っている。

(委員)

備品の更新を求められた場合、どのように対応しているのか。

(応募団体)

指定管理料の予算科目の中に「備品購入費」という科目がないため、「人件費」等をやり繰りしたりして、購入している。

(委員)

市人事課主催の接遇研修に参加するのは、新たに採用した業務員だけか。それとも、継続雇用されている業務員も定期的に接遇研修に参加させているのか。

(応募団体)

基本的には新採用の職員を対象に参加させている。

(委員)

西部市民センターに限らず窓口対応に関する苦情が市役所にたまに寄せられるが、窓口対応などで苦情があったとき、同協議会において自主的に勉強会や研修会など何らかの取り組みをしているのか。

(応募団体)

当センターの業務員はシフト制で勤務するため、業務員全員が揃うのは辞令交付が行

われる4月1日だけである。したがって、「市長への手紙」などで苦情が寄せられた場合は、職員に回覧し周知している。

(委員)

同センターに障がいを持つ業務員はいるのか。

(応募団体)

業務員の募集の段階から障がいを持つ方の応募はない。当センターは障がい者を雇用しなければならない事業主の範囲に該当しないが、仮に障がい者の応募があった場合は、勤務体制等も踏まえ、その障がいの程度などを考慮の上、当協議会の三役と協議しながら書類選考、面接など考えてまいりたい。

(委員)

同センターの維持管理業務の中に仕様書で示す頻度以上に実施すると提案されている業務があるのか。

(施設所管課)

同センターの維持管理の仕様に比べて、頻度が上回って実施している業務がある。

(委員)

仕様書に示されている市民向け講座の年度内実施回数「63回以上」の中に現代的・地域的課題、郷土の理解につながる講座の実施回数「年3回以上」が含まれるのか。

(施設所管課)

63回の中に、現代的・地域的課題、郷土の理解につながる講座としての地域力アップ講座が3回含まれている。したがって、仕様書に示されている市民向け講座の年度内実施回数「63回以上」に対して「63回」の提案となっている。しかし、実際のところ、同センターでは工夫して仕様書に示されている回数以上に実施している現状である。

(委員)

消防設備の自主点検を週1回実施しているというが、点検結果の記録を確認しているのか。

(施設所管課)

先般のモニタリングにおいて、毎週実施している消防設備の自主検査表というものを確認している。